



## 若者が定住できるまち

### 問

「ターン・Uターン」という言葉は何年も聞いていますが、現実はまだ進んでいないように思う。八木町は立地条件も良く、京都へ30分、大阪へは1時間と通勤可能な地域だが、八木町への転入が非常に少ない。魅力がないからではないかと思う。学識者の声を聞くなどして、魅力があり、若い人が住み着くようなことを考えてもらいたい。企業誘致とあわせて考えていけばどうか。

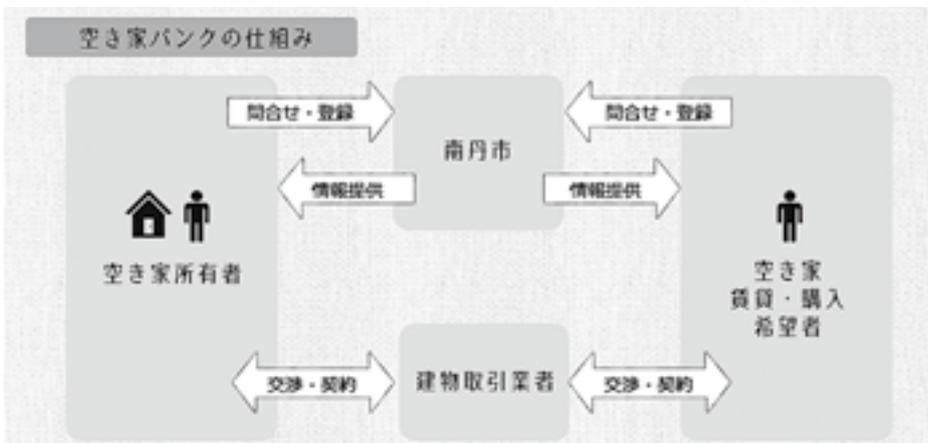
(氷室の郷)

### 答

定住促進に関して一番の問題は空き家がないことだと感じている。移住希望の話は聞くが物件が無く困っておられる。対策については担当部長から説明させる。

(企画政策部長) 移住を検討される方にとって、家を新しく建てたり買ったりするのは、ハードルが非常に高く、尻込みされることもあることから、「空き家バンク」という制度を設け、賃借していただける家を登録いただいで、斡旋・仲

介している。制度を周知できていないこともあるので地域の方や振興会などにもお願いして進めていただくので、お声掛けいただきました。



### 問

定住促進施策への市民意見を反映させるための部署の充実が必要ではないか。(日吉町生涯学習センター)

### 答

定住促進の職員を配置し体制づくりをしているが、まだまだ直接的、積極的な定住活動へのサポートが不足しているというご意見なので、検討していきたい。

### 問

八木駅西土地地区画整理事業の整備後のマスタープランはどうなっているのか。駅、支所、学校、病院が近い状況で、どんなまちを作っていくのか。南丹市の入り口で一番いい場所なので、行政と地域が一緒に頑張ってまちづくりをしてほしい。(八木公民館)

